

タクトには、Dunk に搭載して好評を得ている、優れた動力性能と環境性能を両立した水冷・4 ストローク・OHC・単気筒エンジン eSP を採用しています。



・各部の摩擦によるエネルギーロスを低減する、低フリクション技術

- ①カムとの摺動面をローラー化し、摺動抵抗を低減したローラータイプロッカーアーム採用による動弁系のフリクション低減。
- ②燃焼エネルギーを効率的にクランクシャフトに伝えるオフセットシリンダーの採用で、ピストンとシリンダーの摺動によるフリクションを低減。
- ③ラジエーターの冷却効率を高めることでラジエーター背面にあるクーリングファンを小型化し、空気攪拌抵抗を低減。
- ④ミッション内部の軸受け部 3 箇所ボールベアリングを採用し、各軸の転がり抵抗を低減。

・燃料の無駄な燃焼を低減する技術

停車 3 秒後、自動的にエンジン停止し、発進時はスロットル操作だけでスムーズに再始動するアイドリングストップ・システムの標準装備（タクト・ベーシックを除く）。

従来のシステムに対しエンジン始動時（セルフスターターによる始動）<sup>\*2</sup> にバッテリー電圧を検知するシステムを追加し、バッテリー電圧が低下している場合は、アイドリングストップ機能を停止し、バッテリー上がりの抑止を図りました。



また、スロットル開度やエンジン回転数に応じ、燃料の噴射と点火時期を最適制御する PGM-FI<sup>\*3</sup> による燃料噴射を採用。これらの低燃費技術により、CO<sub>2</sub> の低減につながる燃費性能の向上を実現し、地球環境の保全に寄与します。

\*2. キックで始動した場合は、アイドリングストップ・システムは動作しません。

\*3. PGM-FI は本田技研工業株式会社の登録商標です。

■エンジン単体写真(カットモデル)

